

フクタニユース

発行



(株)...

砕石部

宮様退職

原石ダンプを担当していた宮様(ニックネーム・なぜだろ)こと畠山健治さんが、8月末日で三年を迎えて退職されることになりました。三十日に送別会を開き、感謝の気持ちを込めて入社いただきました。二周年の間、無事に仕事をこなし、ありがとうございました。



←皆からフクタを忘れずにと宮ちゃんが乗った原石ダンプのミニチュアを...

メタボ

社内検診の結果が来た。今年からメタボリックシンドロームの項目が追加となり、男性の場合ウエストが85cm以上で血清脂質異常、血圧高値、高血糖のうち2項目以上について所見のある時『メタボ』と診断される。

「俺は大丈夫だ」とか「俺は予備軍だ」とかやっぱり気になるもんでかまびすしい。

先日、ある事務所の前で一服していたら社員さん達が雑談をしていた。聞くとはなしに聞いていると「子供はなんで肩が凝らないのか」と話していた。答えは「じっとしていないから」とのこと、なるほど名答!と思った。日々

浄法寺のポニョ

宮崎駿監督の『崖の上のポニョ』を観た。魚の女の子が人間の男子の友情? でめでたく人間になる。というストーリーである。観終わって、はて宮崎監督の言いたいことは? と『2001年宇宙の旅』を観たあとのようなさわやかな混沌を感じた。感じつつ浄法寺産のミニトマトを食べたら『ポニョ』(写真)が現れた。



自然界にはなにかのはずみでちょっとした不思議が出現し...その不思議さが感動的なのだと感じた。



御返地の県道バイパス沿いに産直施設がオープンした。最近は大規模なものから無人のものまでこの手の施設は流行のようだ。その土地の気候や風土で生まれたものをその土地の人がいただく。地産地消である。

石は硬くて、重くて、かさばり、その上安い。まさしく地産地消の代表選手である。しかし、地元の自然が造りあげたものであるため、色や密度や化学的性質を変える事はできない。安代のリンドウや、津軽のりんごのように生産者が手塩にかけても、いかんともしがたい品質要因がある。そういうことをわかってもらいつつ地元産の石を有効に使っていただることを願う。

生6号のミニトマトが浄法寺風



※写真はパロディです。食べられません。

コンクール実施中

8月から無事故無違反180日間達成コンクールを実施している。当社でも5人組4班、計20名が『うちの班はメンバーが悪い』といいつつ6ヶ月後豪華商品獲得を目指しはりきっている。全国的には、交通死亡事故は減少しているが、後部座席でのシートベルト着用の義務化、制限速度、ライトの早目点灯等、法令の遵守やマナーの向上にも努めていきたいものである。とりあえず8月

H20・アグド カズル

今年も一戸町夏の恒例行事『アグド カズル』がにぎやかに行なわれました。一戸町のメインストリート野田坂商店街をムカデ競争でかけあがり、途中5箇所の傷害物を越えタイムとパフォーマンスを競います。今年も参加チームは34チームで当社からも男性社員のOさんがメイドに扮して参加しました。(Oさんの奥さんのチームに欠員が生じ急遽参加したと本人は言い訳していましたが、かなり楽しんでいる様子)結果は、タイムは別として仮装部門で第3位となり賞金2万円をゲットし飲み明かしたそうです。爽やかな?汗と賞金にご満悦な様子でした。



編集後記

北海道のバスに乗った時の無線を聞いていたんですが、「ご苦労様です。気をつけて運転お願いします」と営業所からの無線に、運転手さんが「了解しました。ありがとうございます。」と爽やかな返事を聞いて、私は気持ちよく、安心して乗れるという気持ちになるものだと思います。たったその一言が伝えたその人だけに、回りにも与える影響があるのだと教えられました。

利尻島紀行

先日、北海道の稚内から53km、フェリーで1時間40分の所にある利尻島という人口2700人足らずの島に行ってきました。『夢の浮島 利尻島』とキャッチフレーズをつけ、ここ何年か夏はリゾート地として人気があります。島の中心にある富士山に似ていることから『利尻富士』と名付けられた山は、北海道銘菓で有名な『白い恋人』の箱のデザインに使われています。また、古くから国内でも有数の魚田と豊富な資源に恵まれ、海とともに生きてきた「漁業の町」です。特に昆布は利尻昆布の名で全国的に知られており、高級料理になくてはならないだし昆布として多く利用され、その昆布を食べて育つウニも、味、色、香りともに絶品でテレビ取材等で数多く取り上げられ、全国的にも知られるようになったそうです。利尻島では『バフンウニ』と言われ、とげの短い茶色いウニは、甘くて口の中で溶けてとても美味しかったです。何年かぶりに行った利尻は、や



白い恋人

